令和４年度
社会福祉法人南足柄市社会福祉協議会　事業報告

○４年度事業総括

令和４年度は、第５次地域福祉活動計画５年間の２年目の年であり、１年目の反省を踏まえ、事業を進めました。

４年度も、新型コロナウィルス感染症が拡大し、第７波の７月～9月には、国内では１日当たり４万人近くが新規感染するなど、猛威を振いました。

その影響を受け、夏休みの寺子屋事業は、半数程度しか実施できず、事業計画に大きな影響がありました。その他の事業においても、感染予防対策を講じての実施となりました。

そのような中、足柄上地域１市５町から「あしがら成年後見センター」の運営を４月に受託し、7月に開所。成年後見制度など権利擁護に関する住民支援を進めました。

また、生活支援活動である「おたがいさまネットおかもと」と「おたがいさまネットみなみ」の組織統合に向けて支援を行うとともに、ハンディキャブ事業の令和５年度からの運行拡充に向けて、市と協議を進めました。

令和４年度の主要事業について、次のとおり報告いたします。

1　ひとづくり

（１）地域に参画する担い手の養成

①福祉教育支援事業

内　容	各小中学校へボランティアが出向き、児童・生徒に対しボランティア活動体験をサポートする
実施状況	（上半期） ① 6/17　福沢小学校「聴覚障害の理解」　4年生 65名 ② 6/13　岡本小学校「視覚障害者と一緒に歌おう」　4年生55名 ③ 9/7　福沢小学校「見えない世界を体験しよう」　4年生 65名 ④ 9/9　福沢小学校「車いす体験」　4年生 65名
	（下半期） ① 10/4、10/5　福沢小学校「災害クロスロード」　4年生65名 ② 10/18　南足柄小学校「楽しく学ぶ防災」　4年生91名 ③ 11/10　足柄台中学校「車いす体験」「障害をお持ちの方と触れ合う」「なまずの学校」　1年生118名 ④ 11/22　岩原小学校「聴覚障害の理解」　4年生52名 ⑤ 11/28　向田小学校「見えない世界を体験しよう」「車いす体験」　4年生60名 ⑥ 11/30　向田小学校「聴覚障害の理解」　4年生60名 ⑦ 12/2　岩原小学校　「視覚障害者へ点字で情報を届ける」　4年生52名 ⑧ 12/7　向田小学校「視覚障害者へ点字で情報を届ける」　4年生60名 ⑨ 12/15　南足柄小学校「見えない世界を体験しよう」　4年生91名 ⑩ 1/17　岡本中学校　「聴覚障害の理解」「ボッチャ」「心肺蘇生法」　3年生104名 ⑪ 2/6　福沢小学校　「視覚障害者へ点字で情報を届ける」　4年生65名 ⑫ 2/27 南足柄中学校「聴覚障害の理解」「認知症について知る」「視覚障害者へ声を届ける」「車いす体験」　1年生82名

②南足柄で育つ好奇心「寺子屋」事業

内　容	地域住民の協力を得た開催の検討
実施状況	（上半期） 【夏休み寺子屋】 ① 7/22「なまずの学校」　24 名 ② 7/25「お寺で過ごそう！」　23 名 ③ 7/27「森のピカソ～森で森の絵を描こう」　20 名 ④ 7/28「バス遠足～プラネタリウム鑑賞」　19 名 ⑤ 7/29「ハッピー♡パン教室」　12 名 ⑥ 8/23「はやぶさ博士になろう！」　71 名 ● 参加者：児童及び生徒　延べ 169 名　ボラスタッフ：延べ 26 名　講師：延べ 24 名 （下半期） 【冬の寺子屋】 ① 12/17「おやこ・お菓子福祉教室～クッキーを作ろう！」　10 名 ② 12/26「工場見学に行こう！」　17 名 ③ 1/6「昔遊びを体験しよう～凧を作ろう　26 名 【春休み寺子屋】 ① 3/28「物語の主人公を描こう」　20 名 ② 3/29「家にあるものでﾊﾞｽﾎﾞﾑを作ろう(午前・午後 2 回開催)」　22 名 ③ 3/30「森のﾋﾟｶｿ～絞り染めに挑戦！」　18 名 ●参加者：児童及び生徒　延べ 113 名　ボラスタッフ：延べ 21 名　講師：延べ 32 名

③ふれあい出前講座

内　容	地域福祉会や自治会、老人クラブ等が福祉研修を開催する場合の補助として講座メニューの中から選択し、その内容に沿って関係団体と協力しながら、地域において講座を開催
実施状況	（上半期） ① 5/25 広町福祉･げんき計画推進委員会 言葉を失うってどういうこと？～失語症について学ぶ　17 名 ② 6/22 大雄町地域福祉会 エンディングノート書き方講座・介護保険活用法　8 名 ③ 6/22 広町福祉・げんき計画推進委員会 レクリエーションで学ぶ！転倒予防　17 名 ④ 6/22 台河原地域福祉会 三味線・民謡・昭和歌謡曲　35 名 ⑤ 6/27 雨坪睦会・地域福祉会 エンディングノート書き方講座　14 名 ⑥ 7/12 駒形新宿地域福祉会 三味線・民謡・昭和歌謡曲　27 名 ⑦ 7/20 広町福祉・げんき計画推進委員会 難聴について～誰もが感じる“聞こえづらさ” 17 名 ⑧ 7/20 飯沢地域福祉会 エンディングノート書き方講座　20 名 ⑨ 7/23 福泉自治会 大江戸玉すだれ　20 名 ⑩ 7/24 いずみ地域福祉会 ひとり芝居　22 名 ⑪ 7/25 日向地域福祉会 福祉用具のいろは　22 名 ⑫ 7/25 雨坪睦会・地域福祉会 介護保険活用法　10 名 ⑬ 8/22 雨坪睦会・地域福祉会 私たちの地域の歴史を知ろう！　11 名 ⑭ 9/3 岩原地域福祉会 見直してみませんか？あなたの食生活　20 名 ⑮ 9/14 駒形新宿地域福祉会 福祉用具のいろは　25 名 （下半期） ⑯ 10/15 弘西寺地域福祉会 私たちの地域の歴史を知ろう！　19 名 ⑰ 10/20 飯沢地域福祉会 ニュースポーツを体験しよう！　12 名 ⑱ 10/23 竹松地域福祉会 エンディングノートの書き方講座　31 名

	⑲ 10/29 生駒地域福祉会 エンディングノートの書き方講座　18 名 ⑳ 11/12 福泉福祉会 認知症を正しく理解しよう　14 名 ㉑ 11/15 千津島千歳会 エンディングノートの書き方・ハーモニカ演奏　15 名 ㉒ 11/20 広町福祉・げんき計画推進委員会 ニュースポーツを体験しよう！　17 名 ㉓ 11/21 いずみ地域福祉会 認知症を正しく理解しよう　23 名 ㉔ 11/24 地蔵堂地域福祉会 ニュースポーツを体験しよう！ 11 名 ㉕ 11/25 福沢地区福祉会 介護保険活用法。エンディングノートの書き方講座・福祉用具のいろは　18 名 ㉖ 11/28 雨坪地域福祉会 防災めくり　12 名 ㉗ 12/4 駒形新宿地域福祉会 おはなし会　36 名 ㉘ 12/12 沼田地域福祉会 エンディングノートの書き方講座　34 人 ㉙ 1/5 子どもの家（学童保育所）昔遊びを体験しよう！　17 人 ㉚ 1/18 下怒田地域福祉会 介護保険活用法　16 名 ㉛ 1/21 駒形新宿地域福祉会 落語　26 名 ㉜ 2/15 日向地域福祉会 終活講座　15 名 ㉝ 2/18 壗下地域福祉会 知っとく！納とく！備えとく!?～転倒予防と認知症と介護術～ 14 名 ㉞ 2/22 飯沢地域福祉 難聴について～誰もが感じる“聞こえづらさ”　18 名 ㉟ 3/15 広町福祉・げんき計画推進委員会 嚥下障害って何？　18 名 ㊱ 3/16 和田河原若松会 エンディングノートの書き方講座　21 名

（２）ＮＰＯ・ボランティア活動との推進

①ボランティアセンターの運営

内　容	ボランティア活動をしたい個人・団体と、ボランティアをして欲しい人に対し、情報提供とコーディネートを行う
実施状況	（上半期） 〇ボランティア活動実績（活動件数：49 件　活動人数：99 名） 〇ボランティアセンター相談実績 延べ 52 件 〇かわら版の発行 ・6 月号（5/25）：更生保護女性会の紹介、和田河原地域福祉会「健康体操」台河原地域福祉会「元気体操」の活動紹介、みなみすたぐらむにて地蔵堂・大雄町・岩原の写真紹介 ・9 月号（8/25）：夏休み寺子屋「お寺で過ごそう」での 1 日を紹介、水城雅治さんのボランティア紹介、みなみすたぐらむにて駒形新宿・いずみ・福泉の写真紹介 ・送付数：（一回につき）2196 枚 送付先：個人ボランティア、地域福祉会、ボランティア団体、福祉施設、市役所 〇その他 ・5 月「ボラナビ」（新規ボランティア活動募集や情報提供）を登録ボランティアに郵送 ・新規のハンディキャブへの付添依頼に対して、初回は職員が対応し、ボランティアに依頼者の特性及び付添いの特記を伝え、安心して活動してもらえるように配慮した。 （下半期） 〇ボランティア活動実績（活動件数：55 件、活動人数：81 名） 〇ボランティアセンター相談実績　延べ 59 件 〇かわら版の発行 ・12 月号（11/25）：斉藤二三男さんのボランティア紹介、介護に関する入門的研修案内、NEXT10 紹介、みなすたぐらむにて地蔵堂、苅野、壗下の写真紹介 ・3 月号（2/24）：市内花壇マップ、にじの丘船橋庄司さんの紹介、令和 5 年度かわら版

	発行日、令和5年度ボランティア保険案内、みなすたぐらむにてボランティアセンター職員紹介 ・送付数：(一回につき) 2196 枚 送付先：個人ボランティア、地域福祉会、ボランティア団体、福祉施設、市役所 ○その他 ・新規で高齢者施設での傾聴ボランティアの依頼があり調整。

②ボランティア養成講座の開講

内　容	ボランティア同士の交流も兼ねた講座の開催
実施状況	（上半期） ① 5/7「障がいって何だろう？」　9名 ② 5/14「車いすの方の暮らしを知ろう」　13名 ③ 5/28「認知症」「ボランティアを始めるには？」　11名 （下半期） ① 10/26「要約筆記入門講座～聞こえない人にどうつたえるの？～」　17名 ② 11/2「要約筆記入門講座～聞こえない人にどうつたえるの？～」　13名

③ふくし標語、ふくし作文の募集

内　容	夏季休暇を利用した募集の実施と継続的な募集方法等の見直し
実施状況	【ふくしの標語】 ・市内小学生を対象に、学校の夏休みにあわせてふくし標語を募集した。 応募方法：専用の応募用紙を①学校に配布、回収　②個人で郵送　③社協 HP からの応募等 応募実績：計 180 編（南足柄小：38 編、向田小：13 編、福沢小：78 編、岡本小：18 編、岩原小：33 編） ・上記応募に対し、最優秀賞1名、優秀賞8名を選考し、11 月 19 日の令和4年度社会福祉大会で表彰を行い、広報誌にて作品を掲載した。応募者には参加賞として優秀作品が印字されたクリアファイルと、標語作品に多く含まれている「笑顔」の花言葉にちなんだ花の種を配布した。 【福祉作文】 ・神奈川県共同募金会が取りまとめを行う第 45 回神奈川県福祉作文コンクールについて市内の小学校・中学校に対して、夏休みに募集を行った。 応募方法：作文を各小学校で取りまとめ、社協へ提出。 応募実績：小学校の部　計5編（岡本小：1編、南足柄小：2編、向田小：2編)、中学校の部　計9編（南足柄中：9編） ・社協にて代表作文を審査後、小学校の部2編、中学校の部2編を共同募金会へ提出した。県審査の結果、中学校の部1編が準優秀作品賞を受賞した。準優秀作品については社協ホームページに全文掲載を行った。

④活動資金（各種団体への助成等)、寄付

内　容	助成金の使い方を見直し及び外部からの助成金の活用の検討
実施状況	令和4年度は9団体に計 265,000 円の助成を行った。 （内訳）①南足柄市ボランティア協会　30,000 円 ②手話サークルひまわり　25,000 円 ③縁側みなみ　10,000 円 ④みんなみ・ひなた　50,000 円

	⑤青いぶどうの会　10,000円 ⑥録音やまびこ　20,000円 ⑦おれんぢせぇぶ　50,000円 ⑧介護のチカラで南足柄を一番にする会（NEXT10）　20,000円 ⑨南足柄地区更生保護女性会　40,000円

（３）地域におけるネットワークの強化

①足柄上地区権利擁護ネットワーク連絡会

内　容	足柄上地区の福祉関係機関、福祉施設、行政、社協、弁護士等が一同に会し、福祉事例を通しネットワークの構築を図る
実施状況	(上半期) ① 5/17　テーマ:「知る」から始めるSDGｓ　20名 ② 7/19　テーマ：がんばれ！あしがランナーズ　41名 (下半期) ③ 11/15　テーマ：がんばれ！あしがライダーズ　26名 ④ 1/17　テーマ：StandByMe-寄り添いあなたの話を聞きたい-　21名 ●上記の内容で年4回実施。いずれも18：30よりZOOM開催　延べ108名が参加。

②足柄上地区社協連絡会～足柄上地区、広域連携～

内　容	足柄上地区の福祉関係機関、福祉施設、行政、社協、弁護士等が一同に会し、福祉事例を通しネットワークの構築を図る
実施状況	（上半期） ○会議等の開催状況 ・事務局長担当職員会議（7/4） ・足柄上地区災害ボランティア担当者会議（5/20、9/6） ・生活支援コーディネーター実務者情報交換会（7/27） ・地域福祉担当者会議（7/1） 地域福祉担当者会議研修会（9/27）生活困窮者への支援に関する情報交換会 ・権利擁護担当者会議（6/24） ※あしがら成年後見センター一次相談窓口への説明と兼ねる. ○その他 ・昨年度、地域福祉担当者会議で予定していた、コロナ禍で各社協が行ってきた貸付制度や食料支援等について情報交換を行う企画について、引継ぎ、9月に研修会として開催された。報徳食品センターの運営状況や生活困窮についての県社協の相談対応を学び、各市町社協でどのように対応するのか、検討するきっかけとなった。 ・この他、本市社協で実施するネットワーク連絡会の参加や介護入門的研修等の周知について足柄上地区で協力を呼びかけている。 （下半期） ○会議等の開催状況 ・事務局長担当職員会議（第2回 10/19、第3回 3/13） ・会長事務局長会議（1/27） ・2市8町社協役員合同研修会（2/24）「自治会と社協の関わりについて」 ・足柄上地区災害ボランティア担当者会議（研修会 11/25）、(第3回 3/6） ・生活支援コーディネーター実務者情報交換会（2/28） ・地域福祉担当者会議（12/12） ・権利擁護担当者会議（2/22） ※あしがら成年後見センター一次相談窓口への説明と兼ねる

③社会福祉大会の開催

内　容	地域福祉活動にご尽力された方々や団体を表彰し、市民福祉の啓発を図ると共に地域福祉活動等の状況を広報する
実施状況	・前年度の感染症対策による式典のみの縮小開催を見直し、本年度は再び講演会を加えた二部構成での企画検討を行い、11/19 に南足柄市文化会館小ホールにて実施した。 （参加者：第一部　式典 150 人、第二部　落語と講演 120 人。） ・式典の表彰は、計画通り各関係団体から福祉功労者の推薦を募り、また市内小学生を対象に「ふくしの標語」を募集した。第一部の式典にて、功労者の表彰と標語の優秀作品の発表を行った。 ・講演は近年の大会では専門家の講和が続いていた為、より地域の方に広く楽しみながら感心を持ってもらうため、落語家の笑福亭学光氏に依頼し「お笑いで福祉の町づくり」と題し、主に高齢者の福祉や健康に関する講演と落語を行った。 ・幅広い周知のため、広報誌掲載以外にチラシを作成し市内全戸配布を行った。

④地域診断の実施

内　容	毎年 1 自治会を対象に、地域住民と一緒に調査を実施し、課題の整理、診断方法の見直しし、課題解決に向けた取り組みを推進
実施状況	（上半期） 令和 3 年度飯沢地域で行った地域診断の結果に基づき、飯沢地域における活動のフォロー、地域の状況を随時聞き取り。 （下半期） ① 新規サロン立ち上げ意向を示していた日向自治会に対し、地域診断取り組みの打診を行った。 ・3/23　日向自治会　岩崎典子民生委員兼福祉会会計打合せ ・3/28　日向福祉会　総会にて地域診断の実施について説明 ② 飯沢福祉会に対し、今後の取り組みについて随時確認。

⑤社会福祉施設、事業所と連携できる内容の模索、検討

内　容	事業所等と話し合いの場を設置し、ニーズを把握
実施状況	（上半期） 社会福祉施設や事業所等と連携を深めるために、話し合いの場を設ける検討を進めるため、聞き取り等を数か所行う予定にしていたが、夏のコロナ感染症拡大により、行うことができなかった。 (下半期) 老健にじの丘足柄より、地域での活動を広げていきたいとの相談を受け、聞き取りを行った。現在も地域の出前講座への講師派遣等に協力していただいているが、今後、順次広げていくこととした。

⑥福祉関係の仕事に携わる人のネットワーク構築～介護職の連携～

内　容	NEXT10 を中心に福祉関係の仕事に携わる者を対象とした研修会の開催
実施状況	NEXT10 による研修会の開催 月 1 回　1 時間程度（19：00～20：00）の ZOOM 開催 ① 4/19 「座談会～コロナ禍の介護」 ② 5/19 「介護のきほん①～口腔ケア編」 ③ 6/14 「リハビリはなぜ必要？」

	④ 7/21 「みんなのお悩み相談室」 ⑤ 8/16 「薬について」 ⑥ 9/15 「認知症について～事例を添えて」 ⑦ 10/18「座談会～小規模多機能型居住介護って～」 ⑧ 11/17「介護の日エピソード」 ⑨ 12/13「認知症について～原簿の声を聞く」 ⑩ 1/19「講演　虐待について」 ⑪ 2/14「座談会～ケアマネージャーの役割って～」 ⑫ 3/16「介護の基礎技術②～おむつ替え～」

2　地域づくり

（１）人と人の結びつきの推進

①ホームページ、広報誌等の発行

内　容	社会福祉協議会の事業や活動状況を掲載し、地域福祉活動を周知・ＰＲする
実施状況	【広報誌について】 ・7/1（第 153 号）発行 あしがら成年後見センター開所、決算報告、事業計画、役員・職員・福祉会会長紹介、ボランティア入門講座、災害研修会、災害時レシピ、地域活動紹介、事業募集 ・8/31（モニター会議） 前年度広報誌の振り返り、現状報告、令和 4 年度実施希望・要望について ・10/1（第 154 号）発行 夏休みの寺子屋報告、社会福祉大会紹介、災害時レシピ、地域活動紹介、里親制度講座募集、あしがら成年後見センター開所式、赤い羽根共同募金、社協会員募集、事業募集 ・1/1（第 155 号）発行 新年の挨拶、災害研修会報告、災害時レシピ、社会福祉大会、成年後見講演会報告、ニュースポーツ紹介、要約筆記入門講座、地域活動紹介、事業募集 ・4/1（第 156 号）発行 令和 5 年度事業紹介、みなみのお福さん年間報告、ハンディキャブ車料金改訂、内嶋センター長インタビュー、終活講座、アンカーサポート紹介、介護入門報告、自主上映会報告、赤い羽根共同募金報告、理事会報告、人事異動、地域活動紹介、おたがいさまネット統合、災害ボラセン運営訓練報告、交通遺児世帯支援、千津島大開帳、事業募集、ボランティア保険
	【ホームページについて】 〇実施日：随時更新 〇実施内容： ① 地域福祉会やサロン、ボランティア団体、地域活動等の活動紹介と報告（取材した団体の紹介を HP や Facebook に掲載した際「HP から写真を DL した」「あの団体は活発だ」との声を聞くことが増えている）。 ② ボランティア講座等の事業案内。 ③ グーグルフォームを活用した申込みフォームの運用。 ④ LINE 公式アカウントを活用したターゲットを絞っての情報提供（食料支援のお知らせ、福祉会等の会合の案内等を配信。お知らせ等の一斉送信が可能になったことで、電話連絡等の業務を削減することができた）。 〇その他 定期的な更新ができているものの、表示速度が遅かったり、誰もが知りたい情報にたどりつきづらいサイトマップになっているため、局内でリニューアルを視野に検討を始めた。

	【YouTube 動画について】 　令和３年度及び４年度実施あんしんセンター講演会の動画配信を限定（パスワードを知っている方のみ）公開した。
	【かわら版、がいだんすについて】 ・「かわら版」は、６月号、９月号、12 月号、３月号を発行 ・地域福祉会の活動に赴いた際に社協事業の案内や役員会での事業説明を実施 ・「がいだんす」の改訂

②地域福祉会への支援

内　容	地域福祉会が行うサロン活動の開設支援や継続支援の実施、花壇整備や世代間交流等、地域の特性を生かした福祉活動の支援
実施状況	＜北足柄地区＞ （上半期） ①地区福祉会：5/12 第１回会合、7/5 カーレット交流会、8/9 北足柄地区第２回会合 ②各地域福祉会 【地蔵堂】4/8 花見、4/28 総会、5/25 花壇整備、9/24 敬老会 【矢倉沢】6/8 老人会ゴルフ大会、9/16 美化清掃 【内山】6/9 花壇整備、8/24 下怒田福祉会とのカーレット交流 （下半期） ①地区福祉会：会合無し ②各地域福祉会： 【地蔵堂】11/10 花壇整備　11/24 出前講座ボッチャ体験　2/14 独居高齢者慰問 【矢倉沢】11/5 ざる菊灯篭 【内山】10/30 ザルギク祭り　12/3 花壇整備　12/8 体操　3/4 体操
実施状況	＜福沢地区＞ （上半期） ①地区福祉会：5/27・8/26　定例会 ②各地域福祉会： 【上怒田】5/22 花壇整備 【下怒田】6/22 ふれあいの会、9/5 千津島カーレット交流、11/26 ふれあいの会、1/18 出前講座、4/1 総会 【班目】6/4 花壇整備、 【千津島】6/9 花壇整備、6/25・9/19 敬老品配布同行 【壗下】6/16 子育て井戸端会議、9/20 敬老品配布同行、 【竹松】4/23・7/9 萩街道整備、5/26 体操、6/18 ｶｰﾚｯﾄ、7/9 ﾗｼﾞｵ体操、7/15 映画鑑賞 （下半期） ①地区福祉会：11/25 研修会、3/17 総会 ②各地域福祉会： 【上怒田】11/19 花壇整備、12/11 慰問、3/24 総会 【下怒田】11/26 ふれあいの会、1/18 出前講座、4/1 総会 【班目】11/6・11/12 花壇整備、12/18 慰問、3/10 介護予防ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ教室 【千津島】1/14 新春文化祭、3/26 総会 【壗下】11/17 子育て井戸端会議、2/18 出前講座・会員懇談会、3/18 総会 【竹松】3/25 総会
実施状況	＜南足柄地区＞ （上半期） ①地区福祉会：6/2 代表者会議、8/15 合同研修会

	②各地域福祉会： 【苅野】9/19 敬老行事 【弘西寺】4/19 総会、5/31 福祉会会議、6/2 花植え、7/1 白地蔵清掃、9/16 敬老行事 【福泉】4/3 花まつり、7/10 薬師堂例祭、7/23 自治会子ども太鼓と大江戸玉すだれ、9/18 敬老行事 【雨坪】4/28・6/14・8/26 花壇整備、5/18・6/8 老人会役員会、6/27・7/25・8/22・9/26 サロン及び出前講座、7/23 夏祭り、4/23・9/24 雨坪桜会 【大雄町】4/18 役員会総会、6/22 輪投げ及び出前講座、7/24 お話会、9/21 体操 【関本】4/19 総会、6/4・6/11 花壇 【広町】4/23 総会、5/25・6/22・7/20・8/24・9/14 サロン及び出前講座、6/8 花壇整備、7/23 お念仏 【飯沢】4/20 総会、6/16 カーレット、7/20 出前講座 【狩野】7/14 カーレット 【中沼】4/2・4/8 お開帳 【向田】5/20・6/3 ラジオ体操
	（下半期） ①地区福祉会：10/31 合同研修会、3/20 代表者会議 ②各地域福祉会： 【苅野】12/18 正月飾り作り 【弘西寺】10/15 出前講座、11/12 花壇整備 【福泉】11/12 出前講座 【雨坪】10/24 出前講座、10/28 草むしり、11/28 出前講座、1/10 敬老慰問 【大雄町】毎月第 2・4 水曜は輪投げゲーム、毎月第 1・3 水曜は体操教室、2/26 食事作り、3/26 花見 【関本】 【広町】10/26・12/21・1/18・2/22 サロン、11/12 花壇整備、11/16・3/15 出前講座 【飯沢】10/20 出前講座 【狩野】 【中沼】12/18 年末慰問、3/28 総会 【向田】11/29・12/2・12/9 ラジオ体操
実施状況	＜岡本地区＞ （上半期） ①地区福祉会：6/9 全体会議 ②各地域福祉会 【和田河原】8 月以外は毎月 1 回健康体操会を開催、6 月体力測定 【駒形新宿】7 月自治会主催夏まつりに協力（出店）、7 月お茶の間こまがた、9 月出前講座 【生駒】4 月～7 月足形神社清掃、6 月～サロン活動開始(体操、麻雀、カフェ、将棋） 【山崎】6，7 月ふれあい広場での体操会（8 月～コロナで休止） 【日向】5 月自治会主催ウォークラリー、6 月公民館備品整理、7 月生駒サロン視察 【板屋窪】地域福祉会としては消滅 【日影】5 月サロン会（麻雀含む）　以降コロナで休止 【台河原】４～7 月元気体操（以降コロナで休止）、6 月出前講座 【グリーンヒル】今年度から石川新会長 【三竹】独居高齢者訪問 【矢佐芝】5 月自治会主催道路清掃・枝打ち作業 【いずみ】7 月ふれあいレク

	【岩原】４～7 月、9 月福祉の日のつどい　7 月の福祉の日のつどいで出前講座 【沼田】４～6 月やさしい体操教室（以降コロナで休止）　6 月親睦バスツアー （下半期） ①地区福祉会：2/16 全体会議 ②各地域福祉会： 【和田河原】体操を月 1 回開催、むつみ幼稚園の掃除・剪定作業、高齢者慰問品配布 【駒形新宿】7 月から毎月出前講座開催、夏祭り、独居高齢者見守り 【生駒】サロン活動でおしゃべりカフェ・将棋・麻雀・体操開催、モルック購入 【山崎】ふれあい通信を回覧、毎週金曜日体操 【日向】文化祭、出前講座、公民館掃除 【日影】サロン活動、文化祭、一人暮らし宅に花とお菓子配布 【台河原】月 2 回体操、敬老会、災害訓練 【グリーンヒル】文化祭、餅つき、どんど焼き、モルック大会 【三竹】【矢佐芝】合同で敬老会開催 【いずみ】出前講座 【岩原】毎月福祉の日のつどい開催 【沼田】体操、麻雀教室開催、出前講座、バス研修
実施状況	**＜地域福祉活動に関する研修会の開催＞** ○ 6/21・23　地域福祉会連絡会全体会 「高齢化と担い手確保」「地域内の各団体連携」「コロナ禍での活動」がテーマ ○ 9/8　地域福祉研修会「想いを、カタチに～仲間と創る地域活動」文化会館小ホール 「会の高齢化、活動の見直し」に対し、”活動の再編成”をテーマに設定。 **＜地域福祉会等サロン活動及びサロン立上支援について＞** ・既存サロン数：28 サロン（内訳：地域福祉会 26、ボランティアグループ 2） ・活動サロン数（令和 4 年度 1 度でも再開したサロン）：8 サロン（内訳：地域福祉会 6、ボランティアグループ 2） ・毎月開催しているサロン数：7 サロン（内訳：地域福祉会 5、ボランティアグループ 2） ・新規立ち上げサロン数：1 サロン（生駒。お茶飲み・体操・将棋を統合させる形式） ・解散サロン数：1 サロン（狩野えんがわ筏場。お茶飲みがメインだったが感染リスクが高い担い手の高齢化により存続が困難と判断）

（２）地域におけるセーフティーネットの構築

①アンカーサポート事業

内　容	「入院や入所時に、保証人になってくれる人がいない」「自分がなくなった時に葬儀等を頼む人がいない」こんな不安にこたえるための新しい社協の事業を行います。具体的には、定期的な自宅訪問や、電話での安否確認、またオプションで重要書類のお預かりや、万が一入院時の際の手続き、お支払い、またお亡くなりになった後の手続等をする
実施状況	（上半期） ・広報や県社協の情報提供を通じて、他市町社協より問合せや視察があり。 5/23 県社協福祉タイムス掲載、7/1 市社協広報掲載、7/11 事業チラシ増刷 500 部 桑名市社協、平塚市社協、綾瀬市社協より制度について問合せ。 ・海老名市南部民生委員から視察 アンカーサポート/エンディングノートについて（本市民生委員 4 名も出席） ・出前講座（6/22 大雄町福祉会 8 名、6/27 雨坪福祉会 14 名、7/20 飯沢福祉会 20 名） ・一括で預託金を用意できない利用希望者への対策として、保険活用を検討（みどり生命）

	（下半期） ・12/14　視察、情報交換会参加（県社協主催）飛騨市終活支援センター ・3/19　 講演(シンポジスト）県医療ソーシャルワーカー協会　医療福祉講座 ・出前講座（10/23 竹松福祉会 31 名、10/29 生駒福祉会 18 名、11/15 千津島老人クラブ 15 名、11/25 福沢地区福祉会 18 名、12/12 沼田福祉会　34 名、2/15 日向福祉会 15 名、3/16 和田河原老人クラブ　21 名）　年間 10 回、延べ 194 名参加 ・その他　平塚市社協、横浜市中区民生委員より問合せ ・アンカーサポート審査会　年 3 回実施 ・エンディングノート　今年度配布数　497 部　累計配布部数 1,663 部 講演会等で配布　2/8 シニアセミナー100 部、2/23 あんしん講演会 30 部 ホームページからの累計ダウンロード数　39DL（個人の他、社協や民間団体による）

②認知症サポーターにおける活動につなげる仕組み

内　容	認知症サポーターが地域で活躍できる仕組み作り
実施状況	① 5/28　ボランティア入門講座『認知症』『ボランティアを始めるには？』　11 名 内　容：森田壮一氏による認知症についてのパワーポイントを使った講義と、加藤弘美さんボランティアを行っている荒井このみ氏の動画再生、同じく加藤弘美さんボランティアの町田千鶴子氏によるボランティアについての講義。

③認知症に関するボランティアニーズの把握、活動場所の確保

内　容	ボランティアニーズの把握と活動場所の開拓
実施状況	（上半期） ボランティア入門講座開催時に、アンケート実施 ① 5/7 参加者アンケート 9 枚配布中 7 枚回収（回収率 78%） 『障がいに関わるボランティア活動に参加してみたいと思うか』項目への回答 『積極的に関わりたい』0 名、『興味はある』1 名、『すでに活動している』4 名、『無回答』2 名 ② 5/14 参加者アンケート 13 枚配布中 10 枚回収（回収 77%） 『障がいに関わるボランティア活動に参加してみたいと思うか』項目への回答 『積極的に関わりたい』1 名、『興味はある』1 名、『すでに活動している』1 名、『その他』2 名『無回答』3 名 ③ 5/28 参加者アンケート 11 枚配布中 7 枚回収（回収率 82%） 『ボランティア活動に参加してみたいと思うか』項目への回答 『積極的に関わりたい』0 名、『興味はある』4 名、『すでに活動している』2 名、『無回答』1 名
	(下半期） 介護に関する入門的研修開催時に、アンケート実施・ボランティア登録を案内 ① 11/23、11/25　参加者アンケート 100%回収（両日合わせて 21 名分） 『介護福祉への興味・関心』項目への回答 『大いに高まった』6 名、『高まった』13 名、『変わらない』2 名 『具体的な今後の活動』項目への回答 『地域福祉活動やおたがいさまネットの活動に役立てたい』、『介護のボランティアに興味がある』『すでにボランティアに参加』などの回答があった ② 2/4、2/11、2/18、2/2 振り返りシートへの回答 『認知症の方の気持ちや関わり方を知りたい』『理解不足を学び認知症の方への接し方

	を変えていきたい』『初任者研修まで受けたい』等の回答があった ボランティアに4名登録（南足柄市2，中井町1，大井町1）

④行政、地域包括支援センターや認知症に関する事業所との連携を推進

内　容	認知症に関する活動の推進と継続的な見直し及び行政や認知症に関わる事業所等との連携の推進
実施状況	（上半期） 【認知症家族のつどい】 ① 4/12　本人参加者：2名　レク、春のお祭りの思い出話 ② 5/13　「バス旅行（フラワーガーデン）」悪天候のため中止 ③ 6/13　本人参加者：1名　ボラ：1名　レク、お話 ④ 7/13　本人参加者：1名 ⑤ 9/13　本人参加者：4名（2名が初参加）　ボラ：2名　レク、脳トレ 【アクションミーティング】 ① 6/15　南足柄市の認知症対策、アクション報告会、認知症行方不明者対策について、応援メッセージ＆アクション交流会 ② 8/17　欠席 （下半期） 【認知症家族のつどい】 ① 10/12　本人参加者なし ② 11/11 ③ 12/12「クリスマス会」 ④ 1/12 「医師講演会」保健医療福祉センター　健康学習室 ⑤ 2/14 ⑥ 3/15 【相談会】 ① 11/16　もの忘れ相談会（鈴木医院・認知症サポート医師　鈴木哲氏による相談会） 【アクションミーティング】 ① 10/19 ② 12/20　欠席 ③ 2/15

（３）人権の尊重と権利擁護の充実

①あんしんセンター事業の推進

内　容	地域で自立した生活支援として財産の管理や福祉サービスの手段等支援するため成年後見事業や日常生活自立支援事業を実施
実施状況	（上半期） 【日常生活自立支援事業】 ・9月末日時点の利用者数75件。 ・新規契約者数12件、終了10件。 ・月平均の活動実績（電話、訪問、来所など）は378件。 ・利用者の居所は自宅が約55%、施設36%、病院9%となっている。 ・契約締結審査会は、3回ZOOMにて実施し、新規案件の審査や困難事例などの助言を受け、状況報告を行った。 【法人後見事業】 ・新規受任者1件　現受任者22名 内訳：高齢8名（後見6名、保佐2名）、障害13名（後見5名、保佐8名）

	・10 件の受任者の事務報告を家裁へ提出。 ・コロナ禍であるが ZOOM 等可能な限り面談を実施。 ・後期に向けて新規受任相談。
	（下半期） 【日常生活自立支援事業】 ・3 月末日時点の利用者数は 72 件 ・新規契約者数 18 件、終了 18 件 ・年間活動実績（電話、訪問、来所など）4660 件（月平均 388 件） ・利用者の居所は自宅が 52.7%、施設 37.5%　病院 9.7%となっている。 ・契約締結審査会を設置し、年間 6 回審査会を ZOOM で行った。 ・令和 4 年度以前に契約した利用者に対し、要綱改正に伴い、県社協が作成した契約書標準様式（新）を用いて、再契約の準備を行った。 ・10 月に県社協の巡回指導があり、指摘された改善点について検討し、回答を提出した。 【法人後見事業】 ・新規受任 2 件。終了 3 件（死亡 2 件、他法人へ移管 1 件)。現受任者 21 件 内訳：高齢 8 名（後見 7 名、保佐 1 名)、障害 13 名（後見 5 名、保佐 8 名） 後見報酬：19 名　5,594,112 円（終了 3 件含む） ・定期面談、後見事務報告、新規受任申立て、終了報告、移管事務手続き、入院手続き等を実施。

②成年後見制度利用促進を促す中核機関の設置及び運営

内　容	住民が必要に応じて成年後見制度を適切に利用できる仕組みづくりを進めるとともに、権利擁護支援を受けられるネットワークづくりを行うことで、住民が住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせる地域づくりを目指す。
実施状況	（上半期） 【あしがら成年後見センターの設置、運営】 ・4 月委託契約締結。4～6 月は、開所準備期間として、足柄上地区 1 市 5 町行政担当及びセンター職員による連絡会にて、運営の具体的な方法について議論。パンフレットの作成、一次相談窓口の役割の整理、士業との連携、会議の持ち方等を検討。 ・センター長の弁護士、専門相談員の司法書士と委託契約を締結。 ・開所に向けて一次相談窓口担当に対する説明会、ヒアリングを実施。 （6/23 相談支援事業所、6/24 社会福祉協議会、6/30 地域包括支援センター） ・7 月開所式。足柄上地区にある福祉事業所等に対し、開所通知を送付。 金融機関に対する周知、タウン誌等への掲載。 ・9 月からは、センター長または専門相談員が出席する支援検討会議（個別ケース会議）を月 2 回開催。 ・センターは、足柄上地区全体の二次相談窓口を担う他、南足柄市内の一次相談についても担当する。 【成年後見制度の啓発】 ・令和 4 年度より、あしがら成年後見センター運営事業について、足柄上地区行政から委託を受け、制度の周知、相談対応を開始している。 ・成年後見制度について説明するパンフレットを作成し、各町の相談機関、金融機関、福祉関係事業所等に配布。 ・センター開所を記念して、10 月には成年後見制度をテーマとして講演会を足柄上地区全体で開催する予定。
	（下半期） 【あしがら成年後見センターの設置、運営】

	・相談件数　　実人数178名、延べ人数570名から相談を受付 ・会議開催 ①支援検討会議（個別ケース会議、センター長または専門相談員が出席）　8回開催 ②権利擁護協議会　（町ごとに権利擁護の課題について検討する会議）　31回開催 ③一次相談窓口ごとの会議　相談支援事業所等、障害関連の連絡会　2回開催 社協日生事業担当者会議　3回開催 委託包括連絡会　2回開催 ④行政による運営のための会議　連絡会（担当者レベル会議）　4回開催 運営委員会（課長級会議）　1回開催 ⑤地域連携ネットワーク連絡会　1回開催 【成年後見制度の啓発】 ・あしがら成年後見センター運営事業による広報、相談については継続。 金融機関へのパンフレットの配布、補充の他、人権擁護委員研修会等、出席した会議ごとにパンフレットを配布し、説明を行っている。 ・足柄上地区権利擁護ネットワーク連絡会において、年間4回のうち3回で「成年後見制度」をテーマとし、事例検討を行った。

③当事者活動（ピアサポーター）の活動支援

内　容	障害当事者の方が情報発信し、人権の尊重に関する啓発活動を行うことへの支援
実施状況	（上半期） ・精神障害者のピアサポーター活動を通じて、精神科病院に長期入院している患者と、暑中見舞いでハガキでの交流を1回行った。 ・地域で開催される「足柄上地区自立支援協議会」、その中の部会である「権利擁護部会」。「県西障害保健福祉圏域障害者自立支援協議会」に参加（各1回）。当事者の立場から意見を伝えた。 （下半期） ・精神障害者のピアサポーターと精神科病院に長期入院している患者とで、交流を1回実施。年賀状として病院側からはハガキで、ピアサポーターからは動画を撮影して送っており、動画を見た後の感想も病院側からは頂いている。 ・地域への普及啓発活動として、精神障害を持つピアサポーターが普段の生活の一部を題材として、それについて思う事を記載したカレンダーを作成。県西エリアの精神科病院、クリニックの他、公的施設等にも配布した。（計75部） ・ピアサポーターがインタビュアーになって、福祉サービス事業所にその活動を紹介してもらう動画を作成。医療機関や地域に向けての普及啓発活を目的にしている。周知活動については令和5年度に行っていく。 ・「県西障害保健福祉圏域障害者自立支援協議会」等下半期は6つの会議に参加し、当事者の立場から意見を伝えた。

（4）地域共生社会づくり

①岡本地区生活支援活動への支援

内　容	独居高齢者等が身近な地域で自立した生活が送れるように支援するための組織「おたがいさまネットおかもと」の活動の支援
実施状況	・4/20、3/31　総会 ・4/14、6/3、8/11、10/12、12/2、2/2、3/24　役員会 ・6/15、8/17、10/19、12/7　定例会 ※その他 ・6/29愛川町視察研修受け入れ

	・6/1、12/1　広報誌発行

②南足柄地区生活支援活動への支援

内　容	独居高齢者等が身近な地域で自立した生活が送れるように支援するための組織「おたがいさまネットみなみ」の活動の支援
実施状況	・4/22　総会 ・4/8、4/14、6/27、9/28、1/13　役員会 ・4/10、7/13、10/5、1/25　定例会 ・5/6　広報委員会 ※その他 ・5/18　松田町事例発表 ・6/1、12/1　広報誌発行 ・5/18 飯沢サポーターのつどい、8/30 壗下サポーターのつどい、1/28 向田サポーター打合せ会、2/18 課の活動検討会（福祉会・民生委員・ネット）

③新たな生活支援活動の組織化支援

内　容	福沢・北足柄地区内においてお互いに助け合う活動の組織化を図る
実施状況	・5/12　北足柄地区第 1 回会合　地域情報交換 ・8/9　北足柄地区第 2 回会合　地域の困りごとや実情について情報交換 ・9/9　民生委員児童委員協議会中央部会　北足柄・福沢地区民生委員から日ごろの困りごとについてヒアリング ・10/5　みなみ定例会後　課題の整理及び今後のネットの意向についてすり合わせ、協力体制について確認 ・12/9　千津島自治会・福祉会・新旧民生委員を対象に、壗下コーディネーター２名がおたがいさまネットの活動説明を実施 ・3/26　千津島福祉会総会にて、福祉会長と一緒にパンフレットを用いておたがいさまネット活動開始に向けた説明及び会員からの質疑の対応

（5）自助、互助、共助による防災体制の構築

①災害ボランティア養成講座の開催

内　容	登録されている災害ボランティアや新たに関心があり参加される方を対象に自己研さんを図るための講座を開設
実施状況	（上半期） ○災害研修会「豪雨に備える」の開催（3 回コース） ① 5/21「災害時のトイレで大切なこと」チーム・トイレの自由　27 名 ② 6/11「災害時乳幼児支援」　22 名 ③ 6/25「豪雨災害に備える～クロスロード」防災塾だるま・田中栄治氏　23 名 ・新たな層を開拓するため、土曜開催とした。 ・託児 OK とし、市内幼稚園、保育園にチラシの配架や配布を依頼。親子 1 組参加。 ・新規参加者のうち、11 名から災害研修の案内を希望と記名をいただいた。 (下半期) ○災害研修会「地震に備える～災害に強い人づくり…！」の開催　29 名 ○災害ボランティアセンター運営訓練　32 名 ・上半期の災害研修会の反省を生かし、定員数や場所も見直したところ、かなり多くの参加が見られた。 ・運営訓練では、各地域でのまとめての参加や、団体の参加があり、予想以上の参加者数

	であった。

②災害ボランティアセンター運営訓練の実施

内　容	災害ボランティアセンター運営マニュアルに沿って運営訓練をボランティアや関係団体と協力して開催
実施状況	○会議等 ・足柄上地区災害ボランティアセンター担当者会議出席(5/20、9/6、3/6) ・足柄上地区災害ボランティアセンター担当者研修会出席（11/25） ・県・市町村災害ボランティアセンター間情報伝達訓練出席（3/16） ○ 2/7 文化会館にて住民・文化会館職員・社協職員３者による災害運営訓練を実施

3　体制づくり

（１）相談体制の充実

①岡本地区地域包括支援センターの運営

内　容	岡本地区の高齢者の総合相談窓口として地域包括支援センターを市より受託し、市や関係機関等と連携しながら高齢者や障害者など地域住民の健康と安心のため、相談業務を実施
実施状況	(令和４年４月～令和５年３月の相談実績) 【相談内容別】　※月目標は前年度実績に基づき設定 1　相談延べ件数（合計） ①延件数 682 件　②月平均 56.8 件　③月目標値：66.8 件 2　相談内容別実績 (1) 介護保険ｻｰﾋﾞｽ ①延件数：168 件　②月平均：14 件　③月目標値：16.8 件 (2) 介護保険外ｻｰﾋﾞｽ（配食・緊急通報） ①延件数：15 件　②月平均：1.3 件　③月目標値：1.6 件 (3)（１）・（２）以外のｻｰﾋﾞｽ（病院受診・移送） ①延件数：50 件　②月平均：4.2 件　③月目標値：4.8 件 (4) 権利擁護 ①延件数：2 件　②月平均：0.17 件　③月目標値：0.17 件 (5) 高齢者虐待 ①延件数：0 件　②月平均：0 件　③月目標値：0.19 件 (6) 消費者被害 ①延件数：0 件　②月平均：0 件　③月目標値:：0.08 件 (7) 孤独死等 ①延件数：0 件　②月平均：0 件　③月目標値：0.17 件 (8) その他（状況確認・介護予防等） ①延件数：320 件　②月平均:26.7 件　③月目標値：29.1 件 (9) 一人暮らし高齢者等実態把握 ①延件数：92 件　②月平均：7.7 件　③月目標値：10.8 件 (10) ケアマネジャー支援 ①延件数：35 件　②月平均：2.9 件　③月目標値：3.3 件 【参　考】 ・相談者別実績　（　）内は前年度比較 本人 387 件（－104)、家族・親族 183 件（+3)、ｹｱﾏﾈｼﾞｬｰ 29 件（－2)、 支援関係者（病院・民生委員）52 件（-23)、行政関係者（市・消防等）24 件（＋13)、 民間事業者（郵便局等）0 件（－5 件)、その他（近隣・友人等）7 件（-1)

	・相談方法別　（　）内は前年度比較 訪問 363 件（-80）、面接 160 件（－14）、電話 159 件（－25）

②相談支援事業所（自立サポートセンタースマイル）の運営

内　容	地域の中には、病気や障害があることで生活に不自由をきたしている方に対して、独居生活の方が安心していくための支援や、就労支援が困難な方に訓練や働く場を提供する支援など、障害福祉サービスの利用に向けた相談支援を行い、その方が安心して健康に暮らせるように支援する
実施状況	（上半期） ・新規契約者　12 件 ・計画相談（立て直し）　55 件 ・モニタリング　172 件 ・上半期総収入　4,303,060 円（月平均 717,177 円） ・前年度上半期総収入　3,842,430 円（月平均 640,405 円）　前年度比 111% （下半期） ・新規契約者　9 件 ・計画相談（立て直し）　72 件 ・モニタリング　151 件 ・下半期総収入　4,292,730 円（月平均 715,455 円） ・令和 4 年度総収入　8,595,790 円（月平均 716,315 円）　前年度比 105%

③居宅介護支援事業所（ケアマネジャー事業）

内　容	介護が必要な方（及びご家族）が、その方の生活能力に応じて日常生活をご自宅で送れるように、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成して適切な介護保険サービスなどが提供されるよう調整する 業務遂行に関しては、自立支援・利用者本位・中立公正などの基本姿勢で臨む
実施状況	・ケアマネジメント＝ケアプラン作成し在宅生活を自立支援する事業 ①居宅介護支援（要介護）　請求　1,206 件（前年度比　－140 件） ②介護予防支援（要支援）　請求　52 件（前年度比　－53 件） ③介護予防ケアマネジメント（総合事業）　請求　69 件（前年度比　－10 件）

④訪問介護等事業所（ホームヘルパー事業）

内　容	住み慣れた地域で安心した在宅生活が送れるよう、介護保険・障害者総合支援法に基づき、認定を受けている方を対象として身体介護・家事援助などのサービスを提供
実施状況	①介護・総合事業 年間収入　49,469 千円　年間利用者数　1,423 人 ②障害者自立支援事業 年間収入　10,237 千円　年間利用者数　315 人 ③有償ホームヘルパー派遣事業 年間収入　161 千円　年間利用者数　59 人 ④移動支援事業 年間収入　927 千円　年間利用者数　127 人

（２）福祉サービスの充実

①介護に関する入門的研修

内　容	介護人材を量と質の両面から確保するため、国と地域が二人三脚で、介護職への多様な人材の確保を目的に実施します。より多くの方が介護を知る機会とするとともに、介護分野で働く際の不安を払拭できるよう、地域で実際に活動している介護、福祉の専門職の皆さんを講師に迎え、地域に密着した研修を実施
実施状況	【介護に関する入門的研修】 実施主体：県　運営主体：県社協 事業の目的：介護に関する基本的な知識を身につけ、介護分野への参入のきっかけを作り、多様な人材の参入を促進する。 ○基礎講座（11/23、11/25　りんどう会館）　21 名 超高齢社会と介護、介護に関する基礎知識、介護の基本 ○入門講座（2/4、2/11、2/18、2/25　りんどう会館）18 名 介護に関する基礎知識、介護の基本、認知症の理解、基本的な介護の方法、介護における安全確保、障がいの理解、ボランティアセンター紹介、振り返り、就労支援ガイダンス、修了式）

②移送サービス事業の実施

内　容	車いすの方を病院等への移動を支援する
実施状況	（年間の利用状況） ・利用世帯　168 世帯　運行件数　368 件 ・年間の収入　765,900 円 （事業の検討） ・行政と事業の継続等、方向性についての協議を始めた。

（３）障害者の自立支援

①「ワークピアさつき」「アースエコー」の運営

内　容	障害福祉サービスである「就労継続支援Ｂ型事業」として、主たる事業所「ワークピアさつき」、従たる事業所として「アースエコー」を運営します。通所される利用者一人ひとりの社会参加に対する思いを大切にし、作業を通して就労への課題の整理や生活習慣の改善、対人関係の練習などを行うことで、その人に合った自立に向けての支援
実施状況	（上半期） ・今年度も、引き続き感染予防対策を取りながらの開所。幸いにも、コロナ陽性者は出ずに済んでいる。 ・見学者も 6 名を受け、内 3 名が利用契約を結んだ。 （9 月末時点で登録者 47 名。実利用者 39 名、1 日平均利用者数 20.5 名、平均工賃月額 8,493 円） ・受注作業については、新規取引先 1 件契約。 （有限会社みねや／小田原市　割り箸・スプーンセットの封入作業） ・唯一の自主製品であるウエスの注文に対して、原反の調達に苦戦をしていたが、9 月に原反仕入先として、2 社と定期購入の確約が取れたことにより作成・販売が出来ることになった。また、新聞や広告で作成したゴミ箱（袋）（10 枚 100 円）をアースエコーで販売したところ、僅かながらリピーターがついた。 ・アースエコーの存続や移転先については、検討会議を開くなどして、進めているところである。 ・工賃要綱（4 月 1 日施行）を作成し、利用者には、6 月分の工賃より実施。受注作業収入による時給単価（変動あり）の影響で、5 月までと比較して 4 か月間の工賃は減額になってしまったが、賞与の支給を考慮している。（利用者へは通知文と説明をしている）利

	用者への今後の影響などについて、今年度内様子を見て、来年度に向けては、工賃向上計画とも照合し、状況により再検討する予定。
	（下半期） ・コロナ感染症の予防対策の継続および利用者の障害特性に応じた作業方法と環境への配慮を課題とし、10 月にはメンバーミーティングも開催した。 ・自主製品として、昨年に引き続きお正月飾りの作製と新たに折り紙を使った根付を作製し販売したところ、好評で売上（工賃原資）にも繋がった。 ・工賃の内、受注作業収入の時給単価を変動制にしたため、平均工賃月額が減少し、今年度の工賃向上計画の目標額を満たさない状況となってしまった。 ・アースエコーの移転先については候補があがっているものの確定に至らず、検討中である。

（４）生活困窮者の自立支援

①生活困窮者への食の支援

内　容	食料支援「みなみのお福さん」事業を実施し、一時的に生活が困窮した世帯等を支援する
実施状況	（上半期） 【湘南ゴールド寄付】6/8～6/10　JA かながわ西湘提供の飲料水を LINE 登録者の希望者に配布　9 名 【醤油寄付】7/7～7/12　大黒屋提供の醤油をライン登録の希望者に配布　8 名 【お福分け①（無料食料配布会)】8/20　　68 世帯 【賞味期限切れ前配布】9/30　　LINE 登録の希望者に配布　14 名 【お福集め（寄付)】4 月（8 名）5 月（4 名)・6 月（3 名、3 団体)・7 月（9 名、1 団体)・8 月（17 名、7 団体)・9 月（11 名、1 団体） ※無料食料配布会には、NPO 法人報徳食品支援センター・かながわ西湘農協・報徳食品支援センター・和田河原地域福祉会・生駒有志からの寄付があった。
	（下半期） 【賞味期限切れ配布】10/30　LINE 登録の希望者に配布　40 名 【お福分け②】12/24　78 世帯 【伊達巻・蒲鉾寄付】1/5～1/6　報徳食品支援センター提供の蒲鉾等を LINE 登録の希望者に配布　15 名 【賞味期限切れ前配布】2/20～2/28　LINE 登録の希望者に配布　20 名 【お福分け③】3/25　66 世帯 【釜成屋寄付】1/26、2/9、2/15、3/1　市内八百屋から規格外野菜の寄付　LINE 登録の希望者に配布　延べ 21 名 【お福集め(寄付)】10 月(12 名)・11 月(18 名、4 団体)・12 月(53 名、12 団体)・1 月(5 名、4 団体)・2 月(12 名、3 団体)・3 月(16 名、10 団体) ※無料食料配布会には、NPO 法人報徳食品支援センター・かながわ西湘農協・報徳食品支援センター・和田河原地域福祉会・生駒有志からの寄付があった。 ※市文化会館にて広報活動を 3 回実施 ※配布会以外で日常的に食品を渡した。　年間 68 世帯

②生活福祉資金貸付

内　容	生活が困窮している低所得者、障害者、高齢者に対して、必要な相談支援と低金利での資金の貸付を行い、自立と生活意欲の助長を図る
実施状況	（上半期） ・新型コロナウィルス特例貸付　※申請ベースで 9 月末まで

	緊急小口資金　　　貸付実績　30 件　 5,700,000 円 総合支援資金　　　貸付実績　31 件　16,350,000 円 （下半期） ※新型コロナウィルス特例貸付の終了に伴い本則の貸付相談を再開 ・総合支援資金　　　　貸付実績　1 件　　570,000 円 ・福祉資金（医療費）　　貸付実績　1 件　　282,000 円 ・教育福祉資金　　　　貸付実績　4 件　 3,462,000 円 その他申請不可、キャンセル等　　2 件　　323,000 円

③簡易小口生活資金貸付事業

内　容	不測の事態により一時的に生活が困難な世帯に対し、5 万円を上限に資金の貸付を行い、生活の安定及び自立を支援する
実施状況	（上半期） 新規貸付　　3 件（3 件とも償還済み） 残債権数　　29 件　939,000 円 ・新型コロナウィルス感染症の再流行に伴い、神奈川県社会福祉協議会が行う新型コロナウィルスに対する特例貸付の貸付が多かった。 ・簡易小口資金の貸付はコロナ感染症に関係なく困窮している世帯で、かつ生活保護を利用するまでのつなぎ資金として相談を受けた。 （下半期） 新規貸付　　9 件（7 件償還済み、2 件は分割償還中） 残債権数　　31 件　1,039,000 円 ・神奈川県社会福祉協議会の新型コロナウィルスに対する特例貸付が上半期で終了したため、簡易小口資金の相談者が増加する傾向となった。 ・上半期のような生活保護までのつなぎ資金で貸付を希望する世帯の他、電機やガスが止められそう、もしくは止められてしまいライフラインの確保が急務となる緊急性の高い世帯に対する貸付を行った。

○その他の事業

①訪問理美容サービス事業

内　容	車いす生活者や寝たきりの高齢者の方で､理容店、美容院に行くことが困難な方に対し、社協登録理美容事業者が出張理美容を行った時に補助をする事業
実施状況	実施なし

②おはようサービス事業

内　容	独居高齢者等と契約をし、曜日と時間を約束し安否確認を電話等で行う事業
実施状況	(上半期) ・現契約者 4 名 月平均 40 件の電話連絡により安否確認を行っている。 ・半年に一度 自宅を訪問し、緊急連絡先の変更や体調等により聞き取りを行って来たが、新規利用申込がないこと、民間の代替サービスも増えてきたことから、事業の終了について検討を進めた。 （下半期） ・契約者 4 名に対し、月 40 件の電話連絡により安否確認を実施した。 ・5 月末事業の終了とし、理事会の承認を得て、本人と関係機関の調整を行い、全員継続更新はせず、実質 3 月末で終了となっている。1 名は介護サービスの増回、2 名は家族によ

	る見守り強化、1名は民間見守りサービスの利用を検討することとなった。

③被災（火災等）世帯援護事業

内　容	火災、風水害で全焼／全壊、半焼／半壊された世帯に見舞金を支給する事業
実施状況	火災世帯見舞金：2件　30,000円 （全焼分1件　20,000円、半焼分 1件 10,000円）

④地域福祉活動機材の貸出

内　容	地域でのふれあい会活動のために使用するかき氷器、鉄板等機材を無料で貸出
実施状況	13件

⑤福祉用具貸出事業

内　容	福祉用具を無料で貸出
実施状況	車いす　14件

⑥生活再建につながる家計相談業務の実施

内　容	市と連携し、家計見直しに相談業務に対する検討
実施状況	（上半期） ・生活困窮者自立支援制度である家計相談事業等については、市が委託先を公募している。 （下半期） ・市の公募に対して生活クラブが委託を受けて家計相談支援事業を開始する形となった。事業者と顔合わせ及び打ち合わせを行い、社協に相談に来られた方に対して家計相談を必要とするケースを事業者へつなぐ流れを作った。 ・社協から家計相談支援事業への相談実績　2件

○その他の報告

①地域福祉活動への助成

地域福祉会への助成	会員世帯数により200世帯未満：2万円、200～400世帯：3万円、400世帯以上：4万円　を助成（33地域福祉会へ助成）
地区地域福祉会への助成	会議の開催数と地域福祉会の数にて助成(4地区地域福祉会へ助成)

②各種団体へ助成

実施状況	地域福祉会、民生委員児童委員協議会、ボランティア団体(9 団体)、身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、老人クラブ連合会に助成した。

③りんどう会館指定管理事業の受託

内　容	りんどう会館の施設管理を市から指定を受け、会議室等の受付及び施設全般の管理運営を受託
実施状況	・館内清掃、周辺整備、館内点検、修繕等実施、利用者アンケートの実施 ・令和4年度利用実績　524件　5,926人 ①大会議室:150件(3,097人)、②共同事務室:125件(1,110人)、③中会議室 A:142件(1,097人)、④中会議室 B:107件(622人)]

④足柄上地区社協役員研修会への出席(西湘地区社協と合同開催)

内　容	令和4年度西湘地区・足柄上地区社協連絡会役員合同研修会（2/24）　10名

	「自治会と社会福祉協議会の連携」

⑤足柄上地区社協連絡会議の開催

内　容	1市5町社協における意見情報交換、当面する共通課題及び研修、事業の共有化、連絡調整を図るために実施。
実施状況	① 幹事会　1回（4/22） ② 会長・事務局長合同部会　1回（1/27） ③ 事務局長・担当職員合同部会　3回（7/4、10/19、3/13） ④ 担当別会議 ・地域福祉担当者会議　2回（7/1、12/12） 研修会　1回（9/27） ・災害ボランティアセンター担当者会議　3回（5/20、9/6、3/6） 研修会　1回（11/25） ・権利擁護事業担当者会議　2回（6/24、2/22） ・生活支援コーディネーター実務者情報交換会　1回（7/27）

⑥広域事業

内　容	西湘ブロック担当者会議
実施状況	7/8、3/1

⑦その他の広報活動

内　容	社協業務案内（がいだんす）の発行

⑧地域福祉活動計画推進評価委員会の開催

内　容	地域福祉活動計画の進捗状況を評価し、時代に即した事業運営を提言するため、会長の諮問機関として設置。7名の委員で構成。
実施状況	5/11、5/26（令和3年度年間評価） 11/29（令和4年度上半期評価）

⑨理事会の開催

開催日	主　な　内　容
5/24	・令和3年度収入支出補正予算（案）について ・令和3年度事業報告並びに収入支出決算書の承認について ・評議員会の開催日及び内容について ・評議員選任・解任委員会の開催及び内容について
6/10	・副会長の選定について ・南足柄市社会福祉協議会居宅介護サービス事業所運営規程の一部を改正する規程について ・自立サポートセンタースマイル特定相談支援・指定障害児相談支援運営規程の一部を改正する規程について ・自立サポートセンタースマイル地域移行支援運営規程の一部を改正する規程について ・自立サポートセンタースマイル地域定着支援運営規程の一部を改正する規程について ・ワークピアさつき運営規程の一部を改正する規程について
9/22	・社会福祉協議会表彰規程に基づく表彰及び感謝について ・南足柄市社会福祉協議会居宅介護サービス事業所運営規程の一部を改正する規程につい

	て ・自立サポートセンタースマイル指定特定相談支援・指定障害児相談支援運営規程の一部を改正する規程について ・自立サポートセンタースマイル地域移行支援運営規程の一部を改正する規程について ・自立サポートセンタースマイル地域定着支援運営規程の一部を改正する規程について ・ワークピアさつき運営規程の一部を改正する規程について
2/21	・簡易小口生活資金運営委員の推薦について ・社会福祉法人南足柄市社会福祉協議会処務規程の一部を改正する規程について
3/17	・令和４年度収入支出補正予算（案）について ・令和５年度事業計画（案）並びに収入支出予算（案）について ・評議員選任・解任委員会の招集について ・評議員会の招集について

⑩評議員会の開催

開催日	主　な　内　容
6/10	・令和３年度収入支出補正予算（案）について ・令和３年度事業報告並びに収入支出決算書の承認について ・理事の選任について
3/24	・令和４年度収入支出補正予算（案）について ・令和５年度事業計画（案）並びに収入支出予算（案）について

⑪監事会の開催

開催日	主　な　内　容
5/19	・令和３年度事業、資金収入支出監査

⑫外部監査の実施

開催日	主　な　内　容
9/9	支援業務実施報告 ・令和４年度財務会計に関する事務処理体制の控除に対する支援業務の実施（４月～３月）

⑬会費状況

一般会員（１口：600 円）	10,271 口	6,162,400 円
特別会員（１口：1,000 円）	31 口	31,000 円
賛助会員（１口：5,000 円）	133 口	665,000 円
	合　計	6,858,400 円

⑭共同募金状況

戸別募金		5,131,000 円
街頭募金		26,051 円
法人募金		353,000 円
学校募金		38,124 円
職域募金		142,992 円
その他の募金		59,236 円
	募金総額	5,750,403 円

⑮寄付金状況

寄付金	25 件　745,495 円
内　訳	一般寄付：737,401 円 交通遺児指定寄付：　3,094 円 みなみのお福さん指定寄付：　5,000 円

⑯社会福祉基金状況

令和 4 年度基金残高	138,858,708 円
内　訳	前年度基金残高：143,244,671 円 令和 4 年度取崩額：　5,000,000 円 令和 4 年度積立額：　　613,433 円 （一般積立：613,433 円　受取利息：604 円）